

胃に腫瘍が発生し、内視鏡あるいは外科手術による切除を 2010年1月から2024年12月までに受けられた方へ

東京都健康長寿医療センターでは下記の臨床研究を実施しています。この研究の詳細についてお知りになりたい方は、問い合わせ先に直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の情報等をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

研究の名称

高齢者胃腫瘍の初期・早期病理像の研究、および進展リスク因子の探索

研究の対象

2010年1月1日～2024年12月31日の間に東京都健康長寿医療センターで胃腫瘍（胃癌あるいは胃の腺腫）に対して切除術（主として内視鏡による切除、一部は外科的切除）を受けた方

研究の期間

承認後から2026年3月まで

研究の目的

胃にできた上皮性腫瘍（胃癌あるいは胃の腺腫）は、症例によって悪性度が異なります。症例ごとに異なる胃腫瘍の特徴を研究して、進行癌など悪性度の高い癌になりやすい性質を明らかにすることが目的です。また、高齢者の胃腫瘍に特徴的な発癌機構がないか、という観点での探索も行います。

研究の方法

胃にできた上皮性腫瘍（胃癌あるいは胃の腺腫）の切除例を用いて、腫瘍部の病理組織像の詳細な評価、免疫染色を用いた分類、背景胃粘膜の状態評価を行います。また、既に一般公開されている進行胃癌データベース（<https://www.cbioportal.org>）との比較を通して、進行癌など悪性度の高い癌になりやすい分子学的な性質も明らかにしていきます。

研究に使用する試料・情報

研究 - 参考書式 1

使用する試料：切除された胃腫瘍（主として内視鏡による切除、一部は外科的切除）で、ホルマリン固定・パラフィン包埋した組織

使用する情報：研究対象者背景（性別、年齢）、臨床病理学的所見（腫瘍の大きさ、発生部位、組織型、壁深達度、脈管侵襲、他） 施行した免疫染色の結果

研究組織

研究責任者

東京都健康長寿医療センター病理診断科医長 六反 啓文

研究分担者

東京都健康長寿医療センター病理診断科部長 新井 富生

東京都健康長寿医療センター消化器・内視鏡内科部長 小野 敏嗣

東京都健康長寿医療センター外科部長 金澤 伸郎

東京都健康長寿医療センター研究所
老年病理学研究チーム研究部長 石渡 俊行

資料の入手または閲覧、開示

この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じてあなた自身の資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報を含む場合には、資料の提供または閲覧はできません。

お問い合わせ先

研究責任者：東京都健康長寿医療センター 病理診断科 六反 啓文

連絡先：〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

TEL 03-3964-1141 内線 2413

E-mail hirofumi_rokutan@tmghig.jp

受付時間：平日 9 時から 17 時